問３　日本語訳

あなたは誰かの笑顔を見ることが好きですか。僕は将来，僕の助けを必要とする人々を助けたいです。今日，僕は人々の笑顔を見るために多くの考えを思いついた男性について話します。

彼の名前は小林一三です。それは彼の誕生日に由来しています。一三は山梨で，1873年の１月３日に生まれました。彼は若いころに両親を失いました。だから彼は，彼の叔父と一緒に暮らしました。一三は，彼の友達の笑顔を見ることが好きでした。彼は友達にとても親切でした。彼は時々，家から持ってきた食べ物を彼らにあげました。

彼はまた，芝居を見ることが好きでした。彼の叔父さんはそのことを知っていたので，よく彼を芝居に連れて行きました。芝居を見た後，彼はそれらを友達の前で演じることを楽しみました。彼らはそれらを見て幸せでした。

彼は15歳の時に東京で勉強するために山梨を離れました。彼はたくさんの事を勉強し，そしてよく芝居を見ました。彼は将来，自分の芝居の脚本を書きたかったので，物語を書き始めました。しかし，彼は銀行で働きました。

彼が34歳の時，大阪の鉄道会社で働き始めました。そして彼は大阪に新しい鉄道を作る大きな計画に参加しました。彼は鉄道のことはわかりませんでしたが，一生懸命に努力しました。ある日，彼は「私たちの電車はどこを走るのか」と思い，その場所を訪れました。そこには何もありませんでした。彼は「もし町がなければ，誰も電車をつかわないだろう」と思いました。その時，彼はいいアイディアを思いつきました。彼は「町がなければ，町をつくるだけだ」と言いました。彼は鉄道と町を同時につくりました。それらが1910年にできた後，彼がつくった町に人々が集まりました。しかし，電車を利用する人の数は増えませんでした。彼は新たなアイディアを思いつきました。彼は楽しい場所を作りたかったのです。彼は「人々はそこに行くために私たちの電車を使うだろう。」と思いました。だから，彼は大阪に動物園をつくりました。人々がそこを電車で訪れ，多くの種類の動物を見ることを楽しみました。彼が人々の笑顔を見ることが大好きでした。

続いて，彼は兵庫に室内プールを作りました。しかし，誰もプールには来ませんでした。当時は多くの人が室内プールを知りませんでした。彼は「電車を使用する人の数が増えない」と思い，不安になりました。彼は新しいアイディアを考えました。東京で少年音楽隊が人気だったので少女による演劇を人々に見てほしかったです。だから彼はプールをステージに変えました。これが今の宝塚歌劇団です。彼は少女による演劇のために物語を書きました。思わぬ形で彼の夢が実現しました。彼が書いた物語はわかりやすく，大人から子供までみんなが彼の物語を楽しめるので演劇はとても人気になりました。彼はみんなの笑顔を見てうれしかったのです。一三がつくった多くのものは私たちの周りにまだあります。私は笑顔には大きな力があり，彼は人々の笑顔から力をもらったので一生懸命働いたのだと思います。彼のように，私はみんなの顔に笑顔をつくりたいです。それをするために，私は自分が笑えばみんなも笑ってくれると信じています。

問４　日本語訳

ジム：　里菜，この記事を読んでみてはどうですか。
里菜：　わかりました。私はそれをすぐに読むでしょう。

日本に住む外国人にインタビュー

以前よりも，ますます多くの外国人が日本で暮らし，働いています。日本に住む外国人は，日常生活の中で多くの問題を抱えています。私たちは，彼らが日本で心配していることを２つ伝えます。

★ 言語

第一に，もし日本語がわからなければ，日本人とコミュニケーションをとることができません。第二に，もし災害が起こったら，どこへ行き何をすれば良いかがわかりません。日本で暮らすために，日本語は重要です。だから，多くの外国人は，来日した後で日本語を学びます。第三に，彼らは子供達の学校生活を心配しています。彼らの子供達は日本語を上手に話せないので，学校で勉強することが難しいです。

★ 仕事

日本人は働きすぎだと，よく聞きます。このせいで，自分や家族の時間が少ないのです。次に，彼らが仕事をする上で心配していることは，彼らがしっかりと仕事を教えてもらえるかどうかです。彼らは，日本人と上手にコミュニケーションをとれません。また。彼らの文化は日本のものとは異なるので，日本のマナーは外国人にとっては難しいです。

私たちは彼らのために何ができるか

私たちは，これらの問題について考えなければなりません。日本の人口は，ますます減少しています。労働者不足になるでしょう。だから私たち日本人は，彼らの助けが必要です。私たちは皆，友達です。

ジム：　読みましたか。里菜，この記事で最も重要な点は何ですか。
里菜：　この記事は，外国人について考えるべきことがたくさんあることを私たちに示しています。
ジム：　その通りです。僕は日常生活で他の人たちも問題を抱えていると思います。聞いてみましょう。

里菜：　日常生活で，何か問題はありますか。
ある高齢男性：　去年，家の近くのスーパーマーケットが閉店しました。買い物をするために，遠くのスーパーマーケットへ行かなければなりません。私は車を持っていません。年をとって，歩いてそこへ行くのは大変です。また，買い物後に，荷物が重すぎて私には運べません。私たち高齢者には，食べ物や飲み物などを私たちのところへ持ってきてくれる人が必要です。

里菜：　日常生活で，何か問題はありますか。
ある若い女性：　私には２人の子供がいます。彼らは３歳と２歳の男の子です。彼らはまだ幼いので，子供の世話をしなければなりません。しかし，私たち，両親は彼らのために働かなければなりません。私たちは彼らの祖父母と一緒に住んでいないので，子供の世話をしてくれる人が必要です。

この学習を通して，私たちの町には助けを必要とする多くの人がいるのだと学びました。生活しやすい町をつくるために，私の考えを提案します。私は，すべての人に私たちの町で楽しい時間を過ごしてほしいです。

まず最初に，私たちの学校に託児所を設置してはどうでしょうか。私たちの町では，子供数が少なくなっています。だから，私たちの学校には使っていない教室がいくつかあります。それらは託児所に使えます。それは，小さな子供のいる家族にとって役立つでしょう。私たち生徒も，彼らと遊ぶことができます。

次に，私たちの避難訓練に，私たちの町に住む外国人を招くつもりです。私たちは，災害が起きたときに，どこへ行き，何をするべきかを学びます。また，私たちは彼らの子供たちに日本語を教えます。そうすれば，彼らは「日本のマナーとは何か」や「どのように学校で楽しい時間を過ごすのか」を知るでしょう。

最後に，放課後に高齢者が欲しいものを買って，彼らへ届けましょう。私たちはサッカー部のように，ボランティアクラブを作ります。このクラブのメンバーは，高齢者が買い物に行くことを手伝います。買い物の後，彼らは高齢者との会話を楽しむでしょう。私に「高齢者のために私たちは何ができるのか」について，あなたの考えを教えてください。

すべての問題を解決することは難しいですが，そのためにどのように行動するかについて考えることが必要だと思います。

発表をありがとう。発表に，このグラフを使うとより良くなるでしょう。僕は，外国人も日本人も日常生活で多くの問題があるとわかりました。これらの問題を知ることが，住みやすい生活しやすい町にする方法を見つけるための助けになります。

里菜，次の授業でのあなたの発表を楽しみにしています。